

企業会計基準委員会の審議状況

(2012年8月～2012年10月)

平成24年8月から平成24年10月までに、第249回から第253回の計5回の企業会計基準委員会を開催しています。審議事項等は以下のとおりです。それぞれの内容につきましては、企業会計基準委員会ホームページ (<http://www.asb.or.jp/>) で「議事概要」、「議事要旨」(会員限定)及びWebcastを公開しておりますので、そちらをご覧ください。

第249回 企業会計基準委員会 平成24年8月7日(火) 13時30分～15時25分

(審議事項)

(1) 実務対応専門委員会の再設置について

小賀坂主席研究員より、実務対応専門委員会の再設置、及び専門委員の選任について説明がなされ、承認された。

(2) 収益認識専門委員会における検討状況

都常勤委員及び井坂シニア・プロジェクト・マネジャーより、収益認識専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(3) IFRS財団コメント募集「デュー・プロセス・ハンドブック」へのコメント対応について

加藤副委員長及び星野専門研究員より、コメント募集「IASB及びIFRS解釈指針委員会デュー・プロセス・ハンドブック」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

(4) IASB公開草案「IFRSの年次改善」へのコメント対応について

加藤副委員長及び星野専門研究員より、公開草案「IFRSの年次改善」に関するコメントの方向性について説明がなされ、審議が行われた。

(5) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

第 250 回 企業会計基準委員会 平成 24 年 8 月 23 日(木) 13 時 30 分～16 時 30 分

(審議事項)

(1) 無形資産に係る会計基準の検討 (参考人招致)

冒頭、新井副委員長より無形資産に係る会計基準の検討について説明がなされたのち、参考人として招いた 5 名より意見聴取を行った。

(2) 企業結合 (ステップ 2) の検討

都常勤委員及び村田専門研究員より、今後の進め方について説明がなされ、審議が行われた。

(3) IFRS 財団デュー・プロセス・ハンドブック公開草案へのコメント対応等について

・IFRS 財団デュー・プロセス・ハンドブック公開草案へのコメント対応について

冒頭、西川委員長より、2012 年 8 月 22 日に「アジェンダ・コンサルテーションに関する協議会」(財務会計基準機構及び金融庁を事務局とし、企業会計基準委員会、日本経済団体連合会、日本公認会計士協会、日本証券アナリスト協会、東京証券取引所、経済産業省、法務省をメンバーとする。)が開催され、当該デュー・プロセス・ハンドブックについて意見交換が行われた旨の説明がなされた。その後、加藤副委員長及び星野専門研究員より、コメント募集「IASB 及び IFRS 解釈指針委員会デュー・プロセス・ハンドブック」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

・IASB 公開草案「IFRS の年次改善」に対するコメント対応について

加藤副委員長及び星野専門研究員より、公開草案「IFRS の年次改善 2010-2012 年サイクル」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

・IFRS 解釈指針委員会公開草案に対するコメント対応について一公的機関が課す賦課金の IAS37 の取扱い

加藤副委員長より、IFRIC 解釈指針案 DI/2012/1「特定の市場で事業を行う企業に対して一公的機関が課す賦課金」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

(4) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

第 251 回 企業会計基準委員会 平成 24 年 9 月 5 日(水) 13 時 30 分～15 時 50 分

(審議事項)

(1) 企業結合 (ステップ 2) の検討

都常勤委員及び村田専門研究員より、詳細な検討を行っていく論点について説明がなされ、審議が行われた。また、加藤副委員長より、「のれんの減損及び償却に関する質問票」を公表することについて説明がなされ、審議が行われた。

(2) 無形資産に係る会計基準の検討

新井副委員長及び中川研究員より、無形資産プロジェクトの今後の進め方について説明がな

れ、審議が行われた。

(3) IFRS 解釈指針委員会公開草案へのコメント対応について

加藤副委員長及び松尾研究員より、IFRIC 解釈指針案「非支配持分に係る売建プット・オプション」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

(4) 金融商品専門委員会における検討状況

加藤副委員長、神谷専門研究員及び沖本研究員より、国際会計基準審議会（IASB）・米国財務会計基準審議会（FASB）における金融資産の減損及び分類変更に関する検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

第 252 回 企業会計基準委員会 平成 24 年 10 月 4 日(木) 13 時 30 分～16 時 10 分

(審議事項)

(1) 企業結合（ステップ 2）の検討

都常勤委員及び村田専門研究員より、支配の喪失に係る今後の進め方について説明がなされ、審議が行われた。

(2) 無形資産に係る会計基準の検討

新井副委員長及び中川研究員より、無形資産プロジェクトの今後の進め方について説明がなされ、審議が行われた。

(3) リサーチ・プロジェクトの検討状況

小賀坂主席研究員及び板橋シニア・プロジェクト・マネジャーより、リサーチ・プロジェクトの検討状況について説明がなされ、純利益に関する考え方及び今後のリサーチの方向性について審議が行われた。

(4) FASB 及び EFRAG の開示フレームワーク意見募集の概要

加藤副委員長及び松尾研究員より、FASB・欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）の開示フレームワーク意見募集の概要について説明がなされ、審議が行われた。

(報告事項)

IFRS 財団コメント募集「デュー・プロセス・ハンドブック」等に対するコメント

- IFRS 財団コメント募集「デュー・プロセス・ハンドブック」に対するコメント及び IASB 公開草案「IFRS の年次改善 2010-2012 年サイクル」に対するコメント
資料の配布をもって報告するものとされた。
- EFRAG/OIC に対するのれん質問票への回答
加藤副委員長及び関口専門研究員より、EFRAG/OIC に対するのれん質問票への回答について報告がなされ、質疑が行われた。

第 253 回 企業会計基準委員会 平成 24 年 10 月 18 日(木) 13 時 30 分～15 時 50 分

(審議事項)

(1) FASB 及び EFRAG の開示フレームワーク意見募集へのコメント対応について

加藤副委員長及び紙谷シニア・プロジェクト・マネジャーより、FASB・EFRAG の開示フレームワークに係るディスカッション・ペーパーに対するコメントの検討について説明がなされ、審議が行われた。

(2) 収益認識専門委員会における検討状況

都常勤委員及び井坂シニア・プロジェクト・マネジャーより、IASB・FASB における再審議及び暫定合意事項に関する収益認識専門委員会の検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 金融商品専門委員会における検討状況

加藤副委員長及び丸岡専門研究員より、ヘッジ会計（一般ヘッジ）に関する金融商品専門委員会の検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(報告事項)

EFRAG・OIC に対するのれん質問票への回答

西川委員長より、EFRAG・OIC のれん調査票への回答について、報告がなされた。